

事務事業名	デジタル防災行政無線整備事業	所属部	防災部	所属課	くらし安全室
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉	所属G	くらし安全G	課長名	室長 加藤信也
施策名	〈16〉消防・防災対策の推進	担当者名	田部雄二	電話番号	0854-40-1027 (内線) 2352
目的: 対 象	市民	意 図	生命・財産を火災・災害から守る。		
基本事業名	〈046〉防災施設の整備	予算科目	会計: 款: 大事業: 大事業名: 災害対策施設整備事業 0:1:4:5:0:5 項: 目: 中事業: 中事業名: デジタル防災行政無線整備 0:5:2:5:0:2 業名: 事業		
目的: 対 象	市民	意 図	被害にあわない、被害が拡大しない。		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R1 年度 ~ R3 年度 )
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 災害時における市民への無線による通信手段の確保、情報伝達の多重化を図るため、280MHzデジタル同報無線システムの整備を実施。 令和2年度においては、整備工事を実施。当初、年度内の工事完了を予定していたが、R3.6月末まで工期延期する必要が生じたため、繰越明許費を計上。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 整備工事 ・配信局 2か所 ・送信局 2か所 ・屋外拡声子局 131か所 ・戸別受信機 14,300個	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 整備工事(R3.6月末完了予定) 戸別受信機の配布及び設置 R3.10月運用開始予定				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
ア	屋外拡声支局設置箇所数	箇所		0	131	0
イ	戸別受信機配布数	台		0	0	14,300
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	市民	ア 市民	人	37,012	36,248	36,024	35,818
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	無線による通信手段確保により防災情報を円滑に伝達することで、災害時の被害抑制を図る	ア 受信エリアカバー率	%		0	0	100
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
280MHzデジタル同報無線システム整備工事 工事費総額: 1,174,210千円 うちR2完了分: 1,042,607千円...① 消耗品: 1,306千円...② R2事業費(①+②) 1,043,913千円 (起債名: 緊急防災・減災事業債)	財源内訳	千円				
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債			2,900	963,200	156,000
	その他				75,547	8,000
	一般財源				5,166	86
	事業費計(A)	千円		2,900	1,043,913	164,086
	人件費	人		2	2	
	正規職員従事人数			2	2	
	延べ業務時間	時間		200	800	
	人件費計(B)	千円		848	3,366	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		3,748	1,047,279	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・災害時の情報伝達手段として、音声告知放送、文字放送、緊急速報(エリア)メールなどを活用しているが、停電や断線も想定した無線による通信手段の確保による情報伝達の多重化が求められている。	・H26年度頃から防災無線の整備について検討を実施し、エリアカバー率や投資コスト等を考慮した結果、280MHzデジタル同報無線システムの導入を決定した。	・近年のゲリラ豪雨等による災害発生により、防災施設整備、災害対応(避難行動等)についての関心は高く、地域自主組織等からの防災に関する出前講座の要望も増加している。 ・議会等から防災無線整備の必要性について指摘されてきた経過がある。

**2 事後評価【SEE】**

<b>A</b>	<b>目的妥当性</b>	<b>① 政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
		<b>② 公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    * 余地がある場合 →	
		<b>③ 対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    * 余地がある場合 →	
<b>B</b>	<b>有効性</b>	<b>④ 成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない    理由	これまでの検討経過を踏まえ、エリアカバー率や事業費等を考慮した結果、280MHz デジタル同報無線システムの導入を決定した。
		<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b> この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有    理由	災害発生時の停電、音声告知放送等のケーブル断線や、屋外にいる住民への情報伝達手段に影響がある。
		<b>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある    * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない    理由	市内全域を対象とした無線による情報伝達手段はない。これまで旧三刀屋町において防災行政無線が導入されていたが、今回の整備に併せ運用を廃止することとしている。
<b>C</b>	<b>効率性</b>	<b>⑦ 事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	市内全域をカバーする防災無線システム整備には莫大な事業費を要するが、財源に緊急防災・減災事業債を活用している。
		<b>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	設計業務受託者や工事請負者等との調整や、各種申請手続き等の事務が必要。また、戸別受信機の貸与申請受付、各世帯への配送業務など、運用開始までに対応すべき業務が多数ある。
<b>D</b>	<b>公平性</b>	<b>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である    理由	市内全域を対象としたデジタル防災行政無線整備であるため、公平である。
<b>評価の総括</b>	<b>① 1次評価者としての評価結果</b> A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		<b>② 1次評価結果の総括(根拠と理由)</b> 防災行政無線整備について、これまでの検討結果を踏まえ280MHz デジタル同報無線システム整備を選択した経過がある。整備工事は令和3年6月末に完了する予定であり、令和3年度10月からの運用開始に向けて戸別受信機の各戸配布、受信テスト、運用方法の調整等を進めていく。

**3 今後の方向性【PLAN】**

<b>① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<b>② 改革・改善による期待成果</b> <table border="1" style="width:100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
ケーブルテレビの音声告知放送との役割分担を明確にし、防災無線の適切な運用に努めていく。全世帯への戸別受信機貸与に向け、市内の世帯等への周知徹底を図っていく。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																				